

# カキ生育情報

第 4 報  
千葉県農林水産部  
令和元年 8 月号

果実の生育は平年並みです。「富有」等で仕上げ摘果が終わっていない場合は速やかに行いましょう。枝葉が混み合っている所は枝の整理を行い、樹の内側の日当たりを良くします。降雨が1週間以上ない場合はかん水を行いましょう。8月下旬～9月上旬はうどんこ病、炭疽病の防除時期となります。

## 1 令和元年7月の気象

令和元年7月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第2、3半旬が平年より3℃程度、第4半旬が平年より1℃低く、第6半旬が平年より1.2℃高く、他はほぼ平年並みであった。月平均気温は23.4℃で、平年より0.9℃低く、前年より3.2℃低かった。

降水量は、第1、第3半旬が平年の2倍以上多かった。月合計は291mmで、平年の150%、前年の188%であった。

日照時間は、第6半旬を除くといずれも平年より少なかった。月合計は105時間で、平年の62%、前年の41%であった。

表1 令和元年7月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.5	22.7	25.8	109	37	7	5	21	42
2	20.2	23.3	26.0	37	44	25	13	23	37
3	21.3	24.4	26.8	82	38	53	6	25	38
4	23.7	24.7	27.5	23	23	0	10	28	53
5	25.5	25.1	27.7	3	25	0	21	32	49
6	27.0	25.8	25.5	38	27	70	49	42	37
平均/計	23.4	24.3	26.6	291	194	155	105	169	256

## 2 樹及び果実の生育

7月末のカキの果径を表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でそれぞれ5.30cm、5.77cm、暖地園研の「富有」が5.70cmであった。平年と比べると、「西村早生」が99%でほぼ平年並み、「松本早生富有」は104%で平年よりやや大きく、「富有」は101%でほぼ平年並みであった。

縦径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.10cm、4.08cm、「富有」が4.20cmであった。平年と比べると、「西村早生」が101%、「松本早生富有」が100%、「富有」が99%でいずれもほぼ平年並みであった。

果形指数は、「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.29、1.42、「富有」が1.36で、平年と比べると「西村早生」以外はやや横長であった。

7月は日照時間が少なかったが、果実肥大に及ぼす影響は比較的小さく、発育は3品種ともほぼ平年並みである。ただし、日照不足により落果が多くなった可能性はある。

表2 果実の生育（7月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	5.30	5.27	5.76	4.01	4.09	4.25	1.32	1.29	1.36
	暖地園研	5.29	5.38	5.93	4.20	4.04	4.48	1.26	1.33	1.32
	平 均	5.30	5.34	5.84	4.10	4.08	4.36	1.29	1.31	1.34
松本早生	市原市	5.66	5.48	5.73	3.98	3.99	4.29	1.42	1.38	1.34
	富 有 暖地園研	5.87	5.65	6.40	4.17	4.13	4.47	1.41	1.37	1.43
	平 均	5.77	5.56	6.07	4.08	4.07	4.38	1.42	1.37	1.38
富 有	暖地園研	5.70	5.63	6.25	4.20	4.23	4.51	1.36	1.33	1.39

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2018年、いすみ市は1998年～2018年、市原市は1999年～2018年の平均値表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

### 3 8～9月の作業

#### (1) 摘 果

「富有」等で仕上げ摘果が終わっていない場合は葉果比 20 を目安に速やかに行う。葉が5枚以下の結果枝は摘果する。「西村早生」の仕上げ摘果は8月下旬頃(着色開始期)から行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

#### (2) 枝管理

果実の着色向上を図るため、枝葉が混み合い日当たりを悪くしている枝等は取り除く。また、秋雨による汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝は、枝支えやつり上げを行う。

#### (3) かん水

梅雨明け以降、1週間以上降雨がない場合は作土の浅い園や乾燥しやすい園では積極的にかん水を行う。果実肥大の促進、樹勢の維持向上等の効果が期待できる。

#### (4) 収 穫

例年は9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まる。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、黒変を避けるため丁寧に扱う。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

#### (5) 病虫害防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病、落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。9月上旬～中旬にはカキノヘタムシガやフジコナカイガラムシの防除のため、バンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降が防除適期である。防除は千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

#### 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>